

新年

年頭のご挨拶

土浦市長

安藤真理子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一昨年から続く新型コロナウイルスとの闘いは、市民の皆さまの多大なるご協力とご尽力により重大な局面を乗り切ることができました。しかしながら、新たな変異株の感染が世界で広がりをみせていることから、早期の感染拡大防止策を遅滞なく講じていく必要があります。12月から3回目のワクチン接種を開始したところですが、今後も、皆さまの健康、生活、そして命を守り抜き、コロナに打ち勝つため、その時々々の感染状況に応じた適切な対策を確実かつ迅速に実施してまいります。

さて、本市では、これまで、「夢のある、元気のある土浦」の実現に向けて、安心して子どもを産み、育てることができるよう、子育て世帯の経済的負担の軽減や「こども未来部」の創設、家計負担を考慮した家庭用ごみ袋の値下げ、公共交通不便地域におけるコミュニティバスの実証運行の開始などをはじめ、皆さまの生活に寄り添った数々の施策を着実に実行してきております。

本年は、歴史と伝統のある土浦を次の世代に引き継ぎ、新たな未来を築いていくため、次の4つのまちづくりに、優先的に取り組んでまいります。

1つ目は、「かがやけ！土浦の子どもたち」を合言葉に、令和5年度中の開園を目的とした幼保連携型の「市立認定こども園土浦幼稚園」の整備や、子育てと仕事の両立に向けた保育体制及びライフステージに応じた相談支援体制の強化、学校施設の長寿命化などを通じた、『子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり』です。

2つ目は、サイクリングを活用した地域活性化や広域連携による観光推進、歴史・文化の継承を始め、本市の持つ数多



謹賀

令和4年

くの「地域の宝」を最大限に生かした魅力の創造・発信などを通じた、『未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり』です。

3つ目は、公共交通不便地域の解消、新治運動公園の人工芝化をはじめとした公園機能の充実、各インターチェンジ周辺地区における企業誘致に向けた土地利用の誘導やスマートインターチェンジの整備推進、れんこんを核とした農業振興などを通じた、『暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり』です。

4つ目は、激甚化する自然災害の被害を最小化するため、ウィズコロナ下での災害対応における課題も踏まえ、現在見直し中の地域防災計画に基づく地域防災力の強化や急傾斜地崩壊対策、橋梁耐震対策・長寿命化などの国土強靱化に向けたハード整備を通じた、『安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり』です。

また、現在、市政運営を感染症収束後の社会構造を見据えたものに迅速に変化させるため、令和4年度を初年度とする新しい総合計画である「第9次土浦市総合計画」を策定しているところです。

今後は、この「第9次土浦市総合計画」に基づき、これら4つのまちづくりを核として、新しい未来に向けて、愛する土浦を「夢のある、元気のある土浦」に変えていくため、皆さまと一緒に前進してまいりたいと存じますので、引き続き、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が早期に収束しますこと、そして、市民の皆さまにとって本年が、健康で幸多き年になりますことを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

